

# ライフステージごとの主な課題

## 資料5

●：現計画の目標項目から得た課題

○：アンケート結果等から得た課題

ライフ ステージ (状態)	普及啓発	口腔機能の獲得、維持・向上		社会環境
		歯科疾患の予防（むし歯・歯周病）		
乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な歯科受診の啓発</li> <li>○園・園医等と連携した、歯科疾患予防に関する正しい知識の普及啓発</li> <li>●「噛ミング30」運動の推進</li> <li>○口腔機能の健全な獲得を促すための方策の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フッ化物塗布だけでなく、他のフッ化物の応用（歯磨き剤、洗口）、シーラント（予防填塞）の実施によるむし歯予防</li> <li>○むし歯ハイリスクである者の保護者に対する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○離乳期の口腔内状態に合わせた適切な食事と与え方による口腔機能の発達</li> <li>○長期にわたる指しゃぶりやおしゃぶりの使用などの不良習癖の除去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児期からのかかりつけ歯科医の定着</li> <li>○園医等の歯科保健活動の実施と活動の支援</li> </ul>
学齢期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な歯科受診の啓発</li> <li>○学校・学校歯科医等と連携した、歯科疾患予防に関する正しい知識の普及啓発</li> <li>●「噛ミング30」運動の推進</li> <li>○口腔機能の発達を促すための方策の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●集団フッ化物洗口の実施</li> <li>○適切な歯磨き習慣（フッ化物配合歯磨き剤の選び方、使用量、うがいの水量・回数等）の定着</li> <li>○フッ化物の応用（塗布、歯磨き剤、洗口）、シーラント（予防填塞）の実施</li> <li>●歯周病対策のための、歯磨き指導、歯石除去等の定期的な歯科受診</li> <li>○むし歯ハイリスクである者（保護者）に対する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○姿勢を整え、よく噛んで味わって食べることによる口腔機能の発達</li> <li>○必要時、適切な時期の矯正治療の受療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かかりつけ歯科医の定着</li> <li>○学校歯科医等の歯科保健活動の実施と活動の支援</li> <li>○高校在学までに、歯科受診が習慣化するような働きかけ</li> </ul>

●：現計画の目標項目から得た課題

○：アンケート結果等から得た課題

ライフ ステージ (状態)	普及啓発	口腔機能の獲得、維持・向上		社会環境
		歯科疾患の予防（むし歯・歯周病）		
成人期・ 妊娠期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な歯科受診の啓発</li> <li>○口腔の健康と全身の健康、妊娠・出産の関係に関する知識の普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むし歯予防・治療</li> <li>●歯周病予防のセルフケア（歯間部清掃器具を用いた適切な歯磨き）とプロフェッショナルケア（定期的な歯石除去等）</li> <li>○妊娠前からの歯と口の健康づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歯の保存</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かかりつけ歯科医の定着</li> <li>●事業所における歯科健診の実施</li> <li>○事業所における健康教育・保健指導の機会の確保</li> <li>●歯科医療機関における禁煙指導なども含めた、身体の健康も視野に入れた診療・保健指導</li> </ul>
高齢期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な歯科受診の啓発（口腔ケア等も含め）</li> <li>○口腔の健康と全身の健康の関係に関する知識の普及啓発</li> <li>○オーラルフレイルに関する周知</li> <li>●口腔機能の維持・向上のための、口の体操や嚥下体操等の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○残存歯の増加に伴うむし歯や歯周病対策（むし歯予防・治療、歯周病予防のセルフケア（歯間部清掃器具を用いた適切な歯磨き）とプロフェッショナルケア（定期的な歯石除去等））</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯の保存</li> <li>○口腔機能の維持・向上のための、口の体操や唾液腺マッサージ等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かかりつけ歯科医の定着</li> <li>●訪問診療や施設のバリアフリー化など、高齢者に対応できる歯科医療機関の増加</li> <li>○医療・介護との連携、診療所と病院歯科の連携</li> </ul>

●：現計画の目標項目から得た課題

○：アンケート結果等から得た課題

ライフ ステージ (状態)	普及啓発	口腔機能の獲得、維持・向上		社会環境
		歯科疾患の予防（むし歯・歯周病）		
有病者 (糖尿病・ がん等)	○口腔の健康と全身の健康の関係に関する知識の普及啓発	○がん治療によるむし歯の多発や糖尿病による歯周病の悪化等への対応	○全身疾患やその治療による易感染性やがん治療による口腔粘膜疾患等への対応	○発症前からのかかりつけ歯科医機能の定着  ○全身状態を考慮した診療・保健指導  ○内科への歯科治療の重要性の周知と歯科紹介の推進、歯科の有病者受入の増加等、医科歯科連携の促進
障害者(児)	●定期的な歯科受診の啓発  ○家族や施設職員等の口腔ケア等に関する知識と技術の獲得	○施設内、家庭内での口腔ケアや歯科治療	○安全に食べるための食形態や方法の工夫	○口腔ケアに対応できる人材の育成  ○健診や予防処置、一般的な治療ができる歯科医療機関の増加、大学病院等の専門医療機関との連携の推進  ●訪問診療の充実  ●施設のバリアフリー化など、障害者(児)に対応できる歯科医療機関の増加
要介護者	●定期的な歯科受診の啓発  ○家族や施設職員等の口腔ケア等に関する知識と技術の獲得	○施設内、家庭内での口腔ケアや歯科治療	○安全に食べるための食形態や方法の工夫	○口腔ケアに対応できる人材の育成  ●摂食機能療法等を行う歯科医療機関の増加  ●訪問診療の充実  ●施設のバリアフリー化など、要介護者に対応できる歯科医療機関の増加